

4.新聞記事

「中日新聞」一中・高図書館所蔵（バックナンバーも2年分あります）
「読売中高生新聞」「日本経済新聞」一中・高図書館所蔵

「広報なごや」一ひと月に1回発行されている名古屋市発信の広報誌です。（バックナンバーも1年分あります）

2019年度 第1クール 【国語】

「日本の方言と名古屋弁」 に関する資料の探し方

5.インターネット

名古屋市HP>名古屋ことば

<http://www.city.nagoya.jp/kankobunkakoryu/page/0000012698.html>

小学館国語辞典編集部>Web日本語>共通語な方言

https://www.web-nihongo.com/k_hougen/

名古屋弁講座

<http://www.nagoyanavi.jp/nagoyaben/>

国立国語研究所>方言研究の部屋

<https://www2.ninjal.ac.jp/hogen/>

方言検索の名古屋弁辞典

<http://nagoyaben.com/>

アルク>日本一周 方言クイズ

<https://www.alc.co.jp/jpn/article/hogen/>

～ほかにも関係のあるサイトがないか探してみましょう～



6.利用できる他の図書館

中・高図書館や、大学図書館だけでなく近くの公共図書館も活用しましょう。利用したい図書館のホームページを探し、蔵書を事前にチェックしたり、利用時間や利用方法なども調べておくとスムーズに利用できます。

愛知県図書館 <http://www.aichi-pref-library.jp/>

→「県内横断検索あいぞうくん」で愛知県内の公共図書館の蔵書を一括して検索できます。

国立国会図書館 <http://www.ndl.go.jp/>

最後に・・・

このパスファインダーに載せた情報は、ほんの一例です。自分でも色々な情報の検索方法を考えて、もっと多くの情報を集めてみましょう。でも、一人で探すのに行き詰ったら、いつでも図書館のカウンターに相談にきてくださいね。

- PATHFINDER(パスファインダー)とは、あるトピックを調べるために役に立つ資料を、わかりやすく紹介した1枚のちらしの意味です。
- ここでは「日本の方言と名古屋弁」について必要な情報が発見できるようにいろいろな情報源の中からほんの一部を紹介します。
- 書名の前にある〔〕の数字は「分類記号」といって、本の背ラベルに表示されているもので、その図書がどこにあるかを示しています。
- わからないことがあったらカウンターでどんどん聞いてくださいね。

2019.5.14

名古屋女子大学中学校・高等学校 図書館

●●●さまざまな情報メディアを知ろう●●●

- ◇図書 ◇雑誌 ◇新聞 ◇CD-ROM
- ◇インターネット ◇オンラインデータベース

1.手がかりとなるキーワード

いずれのメディアを使用するにも、まず手がかりとなるキーワードをたくさん集めることが情報を早くみつけるポイントとなります。

【「日本の方言と名古屋弁」に関するキーワードの例】

日本語 標準語 方言 東海 名古屋弁 三河弁 訛り
お国柄ことば 地域差 発音 語彙 文法 イントネーション

2.テーマの理解

百科事典やテーマに関係する事典・辞典を使うとトピックを理解するために必要な情報や関連する情報を集めることができます。これらを参考図書（レファレンスブック）といいます。情報を探すには、索引（さくいん）を使うのがコツです。

- [291/I] 「ビジュアルデータブック日本の地理」
- [811/H] 「全国アクセント辞典」
- [813/N/別] 「日本語大辞典 別巻 漢字索引 方言索引 出典一覧」
- [818/H] 「ひと目でわかる方言大辞典 方言で感じる地方の個性」
- [818/K] 「標準語で引く 方言小辞典」
- [818/S] 「笑説大（でゃあ）名古屋語辞典」
- [818/S] 「県別方言感覚表現辞典」
- [818/T] 「標準語引 分類方言辞典」
- [818/T] 「全国方言辞典」

*図書館 HP からデータベース「ジャパンレッジ」も使ってみましょう



3.図書

図書館の本は「日本十進分類法（NDC）」で分類された数字の順に並べられています。その数字は、「分類記号」といって、本の背に貼ってあるラベルに記載されています。一例を紹介しますので、確認してみましょう。

- 080** → 分類記号 「日本十進分類法」で分類された数字
- C** → 著者記号 著者名の頭文字（アルファベット）
- 219** → 巻号記号 本に巻や号がある場合に表記される

「日本の方言と名古屋弁」に関する図書

- [291/A] 「尾張名古屋大百科」
- [291/H/1~7] 「日本全国行ってみたいなあんな町こんな町 1~7」
- [810/M] 「みんなの日本語事典」
- [810/S] 「じゃって方言なおもしとか
そうだったんだ！日本語」
- [818/K] 「お国柄ことばの辞典」
- [818/S] 「誤解されやすい方言小辞典
東京のきつねが大阪でたぬきにばける」
- [818/S] 「新日本言語地図
分布図で見渡す方言の世界」
- [818/Y] 「東海の方言散策」
- [818/Z] 「しゃべってみや〜名古屋弁」
- [080/I95/1496] 「ものの言いかた西東」
- [081/I95/845] 「方言萌え!? ヴァーチャル方言を読み解く」
- [3/D] 「名古屋の謎だぎゃあ
ニッポン不思議発見！」
- [3/I] 「まっぺん！名古屋の謎だぎゃあ
ニッポン不思議発見 2」
- [8/S] 「とっさの方言」

ここで紹介した本はすべて図書館内の「∞講座コーナー」においてあります。このほかにもたくさんのがあります。さらに、自分で思いついたキーワードを、蔵書検索システム（OPAC）に入力して、他にも関連した図書がないか調べてみましょう。

【中・高図書館のホームページ】



中・高図書館の蔵書が検索できます。「フリーワードで探す」に自分の思いついたキーワードを入力して検索してみましょう。2つ以上のキーワードを入力する場合にはキーワードとキーワードの間に空白を入れましょう。

大学図書館の蔵書も検索できます。大学に読みたい本が見つかったら、直接大学に行くか、中・高図書館のカウンターに相談してください。